

<b>(公財)きょうと京北ふるさと公社</b>	<b>平成28年度経営計画 兼 経営努力結果</b>
-------------------------	--------------------------------

**基本事項**

所管局課	産業観光局農林振興室農政企画課	本市出えん金	25,000 千円
基本財産/資本金	30,000 千円	本市出えん率	83.3 %

**「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」**

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

**「今後の方向性」に向けた基本的方針**

業務面	<p>公益事業における公社事業の柱として、農地・農業に伴う地域課題に積極的に関わり、「農学校」としての機能の発揮など、事業を通じてそれらを守り支える取組を展開するとともに、空き家紹介による人の流入など地域の活性化に繋がる取組をより強める。また、地域公共交通事業については、将来に亘って地域の足となるよう効率的な運行を目指し取り組む。</p> <p>収益事業については、貸館事業として公社施設が住民により多く利用いただけることを目指すとともに、指定管理を受けている地域特産物需要拡大センターや宇津峡公園の運営事業についても、申請時の計画に基づき集客（利用客）と収益の増加を目指す。</p>
財務面	<p>各年度の計画に基づき健全な予算執行を行い、費用対効果、経費節減に努めるとともに、収益事業では収益率を高め公益事業を補完するための十分な収益確保を目指す。</p>
組織面	<p>安定した公社運営を行うための組織を構築するため、組織強化を図るための正職員並びに嘱託職員の増員を行うとともに、スキルアップのための職員教育などにより公社運営を担える人材育成に努める。</p>
その他	<p>特になし</p>

**当年度の取組目標に対する意見**

所管局	<p>安定した経営を継続できるよう、収益事業の収益増加はもちろん、職員の教育をはじめとした人材育成に努めていただきたい。</p> <p>また、指定管理受託施設である道の駅、宇津峡公園のサービス向上、イベント実施などを行い、利用者の増加を目指していただきたい。</p>
-----	---

**当年度の取組に対する総括**

団体(※)	<p>当年度は、農を中心とする公益事業を展開する中で、農地集積や後継者育成における将来の事業展開も見据え、専門知識のある職員配置による組織体制の強化に取り組んだ。</p> <p>公益事業では、地域活性化事業として自治振興会や京都市と連携し、空き家活用対策に取り組むとともに、種々のイベントの実施や参加等を通じて“地域が元気になる”ための取組も行った。</p> <p>また、「地産地消」の取組として、次年度から京北3小学校への米飯給食用地元産米(コシヒカリ)の供給が行えることになり、事業量の拡大につながる取組ができた。</p> <p>地域交通事業では、当年度も効率的な運行を行うための社会実験に協力し、その結果に基づき、次年度から一部ダイヤ改正が行われることになった。</p> <p>一方、収益事業については、収益性の高い貸館事業利用の減少や、「宇津峡公園」、「道の駅ウッドイー京北」の喫茶部門について、収益確保が当初計画どおりできなかったことから、公益事業を補完するには至らず、平成28年度の公社の事業運営は厳しい結果で締めくくることがとなった。</p> <p>なお、京北「農」の学校としての機能が発揮できる拠点施設の建設については、何度も検討を重ねたが、平成29年度での予算化には至らなかった。</p>
所管局(※)	<p>指定管理受託施設である道の駅においては、目標である利用者の増加は達成したものの、収支面では赤字となるなど、収支の改善は今後の課題となった。</p> <p>一方、地域への取組については、地元産米の小学校給食への供給の見込みが立つなど、徐々にではあるが成果も出てきている。</p>
外郭団体総合調整会議(※)	<p>様々な公益事業を実施し、地域振興に貢献している点は評価できるが、収益事業には、天候などの不安定要素に左右される面があることから、安定的な財務運営を行うためには、経費削減及び収入源の多角化に努める必要がある。</p>

(公財)きょうと京北ふるさと公社	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

**(1)業務に関する取組**

目標1「農地集積事業実績の拡大」	
中期経営計画における取組	農地利用集積円滑化団体として、農地の「中間保有・再配分機能」を活かし、利用権設定による農地の借り受け、貸し付け並びに売買等に関わる事業を推進し、貸手と借手の斡旋業務として担い手農家の規模拡大や、新規就農者の支援活動に積極的に取り組むとともに、地域内の優良農地の保全と景観の維持に努める。
当年度目標	地域へのチラシ配布等広報活動により、農家からの借受農地及び売買農地の情報収集及び農地調査に取り組み、担い手農家や新規就農者に斡旋する。
当年度結果(※)	京北地域の窓口として、「農地中間管理機構制度」による農地集積において、貸し手と借り手のマッチングに至るまでの取組を進め、結果として平成28年度は5件の成立実績を残すことができた。 また、公社が従来から農地利用集積円滑化団体として取り組んできた利用権設定による農地の貸し借りや農地売買についても相談対応を行い、平成29年度への実績につながる取組ができた。

指標①	貸付実績 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
	—		—		5			5
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	5	0	5	3	5	—	5	—

指標②	売買実績 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
	—		—		3			3
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	3	0	3	0	3	—	0	—

目標2「便利屋事業の利用拡大」	
中期経営計画における取組	地域内人口の減少と高齢化に伴う多種多様な作業委託に対する対応、農業後継者不足による農地の荒廃防止等を目的に、地域住民の幅広い要望に応えるため積極的な事業を展開する。
当年度目標	地域へのチラシ配布等広報活動に取り組み、地域からの幅広い要望に対応する。
当年度結果(※)	細かな作業依頼に数多く対応できたことにより、昨年度対比で受託件数が70件余り多く、受託金額も100万円余り多い結果を残すことができた。

指標	受託作業数 (単位：件)							
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
	—		—		420			440
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	400	432	400	394	420	—	469	—

(公財)きょうと京北ふるさと公社	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

<b>目標3「空家紹介による定住者実績の拡大」</b>	
中期経営計画 における取組	京北地域の課題である人口減少の歯止めや、京北地域の活性化のために、250戸を超える空き家の有効活用と定住促進を目標に取組を進める。
当年度目標	情報の整理を行い、ホームページ等で広く紹介する。
当年度結果 (※)	京北地域の空き家相談窓口となっている京都市(京北出張所)や自治振興会とも情報を共有しながら定住促進に取り組んだ。 京北地域全体では10件の定住実績があり、満足な結果を残すことはできなかったが、うち2件が公社としての取扱実績となった。

<b>指標①</b>	空家登録数 (単位：件)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
	—		—		25		30
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	20	9	20	12	25	—	6

<b>指標②</b>	相談件数 (単位：件)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
	—		—		50		50
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	50	23	50	20	50	—	12

<b>指標③</b>	定住実績 (単位：件)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
	—		—		7		10
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	5	0	5	1	7	—	2

(公財)きょうと京北ふるさと公社	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

<b>目標4「貸し農園の利用拡大」</b>	
<b>中期経営計画 における取組</b>	京北地域の活性化の取組の一貫として、より親しまれ利用いただける市民農園となるよう管理運営に努めるとともに、収穫祭などの独自のイベントも充実させ、都市住民と地域住民の交流の場としての利用促進を図る。
<b>当年度目標</b>	ホームページ等でPRに取り組む。
<b>当年度結果 (※)</b>	農園を通じて利用者との交流を図り、土・日・祝祭日を中心に京北地域へ来ていただけるよう取り組んだ。 年間を通じ利用者の募集も行った結果、最終的に利用者は昨年と同じ22名であったが、利用区画については昨年を上回る35区画の利用をいただくことができた。

<b>指標①</b>	利用区画 <span style="float: right;">(単位：区画)</span>							
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
	—		—		40			40
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	35	34	35	32	40	—	35	—

<b>指標②</b>	利用者 <span style="float: right;">(単位：件)</span>							
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
	—		—		30			30
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	25	21	25	22	30	—	22	—

(公財)きょうと京北ふるさと公社	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	228,540	235,169	230,197	236,479	220,000	225,095	
経常費用	228,540	238,951	229,654	232,104	220,000	233,566	
当期経常増減額	0	△ 3,782	543	4,375	0	△ 8,471	
当期正味財産増減額	0	△ 10,293	0	605	0	7,106	
資産合計	—	168,916	—	175,507	—	178,499	
負債合計	—	32,745	—	38,731	—	34,617	
正味財産	—	136,171	—	136,776	—	143,882	
うち累積損益額	—	106,171	—	106,776	—	113,882	

目標「収益事業による収益確保」	
中期経営計画における取組	公益事業を補完するための、収益事業における収益をより確保するために、事務経費や人件費、原材料の仕入れなど経費の節減に努め費用対効果を追及するとともに、施設利用による貸館事業では、より効果的な収益確保と多くの利用を促すための地域へのPR活動等を行い収益拡大を目指す。
当年度目標	指定管理施設（地域特産物需要拡大センター、宇津峡公園）のPR活動等を行い、収益の拡大を目指す。
当年度結果(※)	主に葬祭で利用があり収益性の最も高い貸館事業が、家族葬など葬儀形態の移り変わりにより利用が減少したこと、大型アウトドア施設である「宇津峡公園」については、集客のために新たにラフティング(川下り)の取組を行うものの、デイキャンプの利用が減少していること、「道の駅ウッディー京北」の喫茶部門についても、プラス収支が残せなかったことなどから、収益事業全体での当初計画による収益を確保することができず、公益事業を補完するには至らなかった。

指標①		道の駅ウッディー京北喫茶部門の純利益の増加 (単位:千円)					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
		—	—	—	—	1,200	—
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	884	2,836	973	2,342	1,200	—	△ 799

指標②		宇津峡公園の純利益の増加 (単位:千円)					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
		—	—	—	—	424	—
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	300	△ 2,230	334	1,603	424	—	403

指標③		公社施設の貸館利用に伴う純利益の増加 (単位:千円)					
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
		—	—	—	—	800	—
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	3,730	407	590	224	800	—	446

(公財)きょうと京北ふるさと公社	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

(3)組織に関する取組

目標「安定的な運営のための計画的な人材確保」	
中期経営計画 における取組	<p>本公社の将来を見据え、また京北地域に必要で継続的な事業運営を行うため、定年等による退職者の補填も含め、安定的な身分の職員(正規職員及び嘱託職員)の確保に努める。</p> <p>正規職員については、平成28年度に農に関する事業に伴う正規職員を採用し、その後、地域雇用の創出として、新卒者の採用も含め各事業部に最低1名の正規職員が配置出来るよう取り組む。</p> <p>嘱託職員については、ウッディー京北における業務の円滑化や正規職員の補佐的な役割が果たせるようパート職員からの変更や、現在定員に達していない地域交通事業部ふるさとバス乗務員の人員確保に努める。</p>
当年度目標	ウッディー京北における業務の円滑化等を図るため、パート職員からの変更や、現在必要人員を確保できていない地域交通事業部ふるさとバス乗務員の人員確保に努める。
当年度結果 (※)	<p>正職員については、将来の公社事業を見据え、計画どおり農業に長けた人材を新規採用で1名確保することができた。</p> <p>嘱託職員についても、新規採用によりウッディー京北担当を1名、地域交通事業部ふるさとバス乗務員を1名増加することができた。</p>

指標①	正職員数 (単位：人)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
	—		—		4		5
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	4	4	4	3	4	—	4

指標②	嘱託職員数 (単位：人)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
	—		—		22		24
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	20	18	20	16	22	—	18